



飯地小学校だより  
令和7年度 第13号  
令和8年3月24日



飯地小学校 HP

夢をもち、懸命に生きる子 ~進んで学ぶ子・思いやりのある子・元気な子~

## 卒業 修了おめでとう ~混沌とした社会を「逞しく」生きる~

校長 下畑 茂

「地はさわやかに 気は清し」春の訪れを知らせる鳥の音が広がる通学路に「おはようございます」と、子ども達の元気な声が聞こえてきます。季節は巡り、令和7年度の教育活動が修了の時を迎えます。

卒業式では2人の卒業生が在校生の祝福の校歌に送られて、この学び舎を巣立ちます。6年前の入学式には上級生の姿もなく、伴奏の校歌を聞きました。そして今。卒業証書を受け取り、振返った先に見えるたくさんの方々の笑顔。この光景は、これから2人が進む路を照らす、希望の灯となることでしょう。

この一年間、全校のリーダーとして「信頼」の学級目標のもと、学校行事、児童会を通して自己の役割と責任を感じる様々な体験を重ねてきました。心細さ、逃げたくなる時もあったことでしょう。それでも正面から向き合い、話し合い、行事をやり遂げていく度に、みんなの前に立つ言動が変わってきました。未来への可能性を響かせた飯地太鼓の演奏。忘れません。

立場が人を育てる。「6年生を送る会」で下級生達が語った2人の「優しさ」「逞しさ」「憧れ」こそ、目指してきた姿であると感じました。コロナ禍を経験し、大きな自然災害、世界情勢の変化を目の当たりにしながらも、飯地小で仲間達と成し遂げた数々の経験。「自分には今を変えていく力がある」という自信と誇りを胸に、力強く歩み出していくことを願っています。

今年度も学校の教育目標「夢をもち 懸命に生きる子」のもと、子ども達と「なりたい自分」の実現に向け歩んで参りました。「やってみよう」と自ら挑戦し「大丈夫、なんとかなる」と仲間と支え合い、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝え合える関係性の中で「自分らしさ」を磨いてきました。この一年、保護者、地域の皆様方からたくさんの愛情・ご支援を受けながら子ども達の成長に携われたことに、職員一同、感謝申し上げます。「ありがとうございました」

令和8年度。飯地小学校は152年の歴史の中で、初めて入学式と卒業式が行われない1年を迎えることとなります。2・3年生と4・5年生の複式2学級になります。そうした中にも、校庭の石碑に刻まれた願い「粘り強く 逞しく 生きよ 青空へ」の精神は変わることなく、これからも在校生に受け継がれていきます。

新年度においても、飯地小学校の教育活動へのご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。



### 飯地小学校運営協議会コーナー

令和8年3月16日

飯地と市政の歴史を学ぶ

~地域ぐるみで育てたい姿『豊かな体験を通して、ふるさと飯地への愛着と誇りをもつ』~

卒業を控えた6年生が、地域講師として縹縹佳恭先生をお招きして「市政の歴史」について話を伺いました。

大河ドラマ「豊臣兄弟」と重なる歴史が、この飯地にあることを知りました。また、市政は苗木藩領時代から飯地町に続き、伊東祐朔さんが十四代当主にあたります。高校で教鞭をとられ、歴史や生物等、幅広く多くの著書を残されました。図書室には、伊東さんより寄贈を受けた書籍コーナーが設けられ、子ども達が手にしています。この授業を通して、また一つ飯地の偉人、魅力に触れ、理解を深めることができました。縹縹佳恭先生には、ご多用の中、来校いただき、誠にありがとうございました。

新年度、恵那北中学校では「ふるさと科」が新設され、地域課題を追究する授業が始まります。小中学校で連携を図り、卒業生と学びを持続できることを考えております。今後とも、地域の皆様のお力添えの程、宜しくお願い致します。

